



TERRAとも
NPO 法人 地球市民友の会

第 13 号

2014(平成26)年 7月
NPO 法人地球市民友の会
藤沢市高倉 258 東勝寺内
☎0466-44-7570

FAX : 0466-44-0452 E メール : npo.terratomo@gmail.com HP : <http://www.terratomo.com>

第4回通常総会開催

2014(平成26)年5月31日(土)17時、東勝寺客殿において第4回通常総会が開催された。

黒澤理事長から会員に向けて、昨年度活動への謝意と本年度活動への協力要請がなされた。

また、3年間続けていただくことのできた活動助成金が26年度はゼロになるためNPO活動の周知と新規会員の開拓に今まで以上に努力することへの協力要請もあった。引き続き、25年度の事業及び会計報告、26年度の事業計画案及び収支予算案の報告があり、いずれも承認された。

○事業報告より

<日本語友の会(日本語教室)>

実施回数40回、参加延べ生徒数292名、延べ先生数332名

☆今年度、日本語教室の一環として、生徒からの要望を受け、以下の教室を開催

- ・8月21日(水)~23日(金)、授業の補習としての「夏期子ども日本語教室」
- ・3月15日、日本文化に関する理解を深めるための「日本料理教室(花巻きずし)」

<子ども育成事業(学習支援教室、スペイン語教室)>

- ・学習支援教室、土曜日21回、参加人数243名、先生194名
- ・スペイン語教室、土曜日クラス43回、延べ生徒数661名、先生153名
月曜日クラス42回、延べ生徒数208名、先生96名

<流しそうめん>

9月21日参加者約50名(各教室の生徒、先生、親、NPO関係者)

<年末国際交流会(コンサート、懇親会)>

- ・11月30、中国琵琶と南米楽器ケーナのコンサート 参加者数100名
- ・12月29日、食べ物や文化を通じての外国籍の人達と日本人との交流会 参加者数130名

<その他の活動>

◇ふじさわ国際フェスティバルに参加

11月10日(日)、サンパール広場で開催された上記イベントで、スペイン語教室有志による中南米料理の実演と販売、NPO 地球市民友の会の活動紹介。

◇MINTOMO 交流会に参加

12月7日(土)、湘南台公民館において、北部地区の児童、生徒、保護者の国際交流会。参加者によるもちつき、クリスマスの工作教室、南米の踊り・歌の披露、お菓子の提供など。

◇会報発行 25年度実績：会報8号~11号を発行

○理事、監事(任期2年)の選任

理事(馬目貞夫、内田道夫、澤野博、黒澤宗剛、堀千鶴、稻川文雄、望月千春)

監事（神山史） 理事長（黒澤宗剛） 副理事長（澤野博）

議案審議後の意見交換の時間では、より良い活動を展開するためにということで建設的な発言が多数出された。中でも収入減となる26年度予算に関する善後策については活発な話し合いがなされた。

「夏休み子ども日本語教室」募集中

当会では、地域に暮らす外国につながる大人や子どもに対して、日本語指導や学習支援を継続的に行ってきている。今夏は、大人対象の日本語指導を行っている「日本語友の会」が、日本に住んでいながらまだ日本語が十分でない児童・生徒を対象に日本語の指導を中心に、夏休みの課題学習の支援などを行うことを目的として「夏休み子ども日本語教室」を開催することになった。日時は8月20日（水）～22日（金）の3日間、9時～12時に東勝寺で実施。

詳細はNPO法人「地球市民友の会」までFAXまたはEメールにてお問い合わせください。

「お寺に泊まろう！」参加者募集中

夏休み恒例の行事「お寺に泊まろう！」の参加者（小学生）を募集しています。8月23（土）～24（日）、1泊2日の日程で東勝寺において、「日本人の子どもと日本に住む外国籍の子どもが共同生活を行うことにより相互理解を図る事業」として実施してきたものである。坐禅や清掃、流しソーメン、花火やスイカ割り等のこれまでのメニューに加えて、お楽しみの時間を盛り込むなど、「お寺で共に遊び食事をし泊まる」宿泊体験行事の充実を図ってきた。募集人員は30名、参加費1000円。申込は〒、住所、氏名、電話番号を明記の上、FAXかEメールまたはハガキにて8月10日まで「地球市民友の会」へ申し込んでください。



夏の風物、流しソーメンを楽しもう！！

9月の恒例行事になった「流しソーメンを楽しむ会」を9月6日（土）、東勝寺境内で実施する。NPO 地球市民友の会の日本語友の会、学習支援教室、スペイン語教室の各教室の生徒、先生、親、お泊まり会参加者やNPO関係者等が寺に集まり、夏ならではの風流な流しソーメンを楽しもうという趣旨で毎年実施してきたものである。長い孟宗竹でこしらえた樋を流れ下るソーメンを箸でお椀にすくい取って食べる！みんなでワイワイ！なかなか楽しいものである。

参加申込案内は各教室で配布予定。問い合わせは「地球市民友の会」まで。

日本語教室：生徒の声を紹介します

私は中国から来た岳発東（ガク ハツ トウ）と申します。日本に来てから3年になります。「TERRAとも」勉強しようと思ったきっかけは、日本で生活、就職したけど、周りの友達や同僚と日本語であまり喋れない。日本の社会と歴史に興味を持ちました。だから、もっと日本語を身につけるために日本語について知りたいからです。



教室に通い始めてから10カ月になります。私は今日本の新聞を読んで、漢字の正しい発音を学習しています。私の目標は日本語N1級に合格、日本の会社に行って自分で正しい言葉を使い、打ち合わせできることです。これから日本人とコミュニケーションしたり、仕事上のビジネス文章の正しい

書き方もやってみたいと思います。

<感想> これまで私は、「日本語友の会」の教室で日本語を勉強し始めて10カ月になります。先生は真面目で、責任感の強いいい先生なのでいつも丁寧に親切に教えてくれて、会話からたくさんの生活や仕事上使われる日本語会話の応用を学びました。今では私は日本語を話すことに自信を持ち始めたと思います。簡単に日本語を話せるようになりました。先生より指摘頂いた点は今後もっと頑張っていきたいと思います。先生から教える知識とコミュニケーションなどを活用できることを期待しています。教室での時間はすごく楽しかったです。「友の会」に感謝の意を表したいと思います。外国人に対して、このような日本語の教室を開設して、先生も本当に優しい人です。私たちの日本の知識と生活常識を一層充実させることができるからです。本当にありがとうございました。

メキシコからのメール#3

HOLA! Como estas?? オラ! コモエスタス? 皆さま、こんにちは! お元気でいらっしゃいますでしょうか? マリンバの古徳景子です。

今春、4月26日には、「東勝寺に響け! メキシカン&クラシック・マリンバ」のコンサートを、NPO法人地球市民の会の主催で行いました。ご住職が振る舞って下さった甘茶は、大好評だったようです。この演奏会のことは、改めて寄稿する予定です。

前は、2001年のベルギー国際マリンバコンクール・ソロ部門についての内容でした。

今回は、2013年7月に同僚のロベルト・パロメケ氏（チアパス州立芸術科学大学講師）と参加した、ベルギー国際マリンバコンクール・デュオ部門についてお話し致します。

思いおこせば、約13年前の「準優勝」という納得のいかない、悔しい想いを抱えつつ、まさか! 自分がもう一度、同じ舞台に立ち、コンクールを受けるとは思ってもいませんでした。

きっかけは、ロベルト氏の一言で、私の気持ちもだんだんとコンクールに向って行きました。

「自分はメキシコ国内のコンクールだったら優勝する自信もあるけれど、そのレベルじゃあ、だめなのだ。メキシコ人として世界で認められるマリンバ奏者になりたい。景子の音楽を学んで一緒に優勝したい!」「だったらソロ部門もあるので、そちらで受けてもいいのでは?」と言うと、「ソロ部門でチャレンジする事も出来るけれど、景子と一緒に音楽を奏でるデュオは、今じゃないと出来ない!」確かに、プロとして年齢を重ねて活動すれば、コンクールを受けるというレベルではなく、反対にコンクールの審査員をする立場となっている。(年齢制限がないコンクールであっても、ほとんどの受講者は20歳から35歳までというのが暗黙の了解)

13年前に受けたベルギー国際マリンバコンクール・ソロ部門が最後のコンクールになるだろうと思っていたので、30歳を過ぎて経験を積んだ自分が優勝できなかつたら、みっともないし、プレイヤー古徳景子として演奏してただけに、今になってコンクールを受けて良い演奏が出来なかつたら? という、様々なプレッシャーを感じました。

そのプレッシャーの反面、メキシコ・チアパスに赴任してから私の生活は、二人の子供を授かり、ガラリと変わりました。子どもがまだ幼いこともあり、家庭と音楽家として両立の難しさを直面している中、家族の比重の方が大きかったこの時こそ、今一度、音楽家としての良いチャレンジになるのでは! とも感じるようになりました。

「やるか! 今度こそ優勝したい!」と気持ちは一気に高まり、受験する事を決めたこの日は、コン

クールの締め切りの日でした。さあコンクールの日まで4ヶ月間、私たちの戦いが始まりました。すぐに演奏する曲目を相談し、全9曲をお互いにコピーし、いつ練習をするかを話し合いました。

デュオはソロとは大きく違いアンサンブルになるので、相手の呼吸やフレーズ感、音の出し方などを、お互いに分かり合い、一つの音楽にまとめなければなりません。自分のパートが完璧に出来たとしても、ソロでは良いけれど、デュオとしてはまだまだ音楽として成り立っていないという壁に何度もぶち当たりました。

その度にフレーズを一緒に歌い、腕や肩の動き、マレット（撥）の動きやテクニックなど何度も何度も確認し合いました。一番の問題は練習の時間が取れない事でした。

もっと一緒に練習がしたい！という想いはいつもあり、1時間でも時間があればお互いを呼び出して練習をしようと試みました。ですが、朝から夕方までは大学の仕事があり、夕方以降4時になると、子供が保育園から帰って来る。考えた末、朝8時から大学の授業が始まる前の、5時からの練習だと、だれにも邪魔されない絶好の練習時間でした。

いくら練習をしても時間だけが過ぎて行くだけで、なかなか納得のいく音楽が出来ない。その想いを抱えながらコンクールの3週間前には、チアパス州立芸術大学と州政府主催の第2回ラテンアメリカマリimbaコンクールが開催。他国から有名なマリimba奏者が招かれ、2週間にわたってコンサートやマスタークラスが行われました。もちろんこの間は、一度も合わせることが出来ず、ただただフラストレーションがたまるばかりでした。気が付いた時には、もうコンクールまで、あと2週間を切っていました。全9曲を暗譜でやりきれぬのか？自信がなかなか持てませんでした。長時間練習するときにはいつもパンやお菓子を持ち込み、ほとんど練習室から出ませんでした。

ところが練習を終えたある日、気分転換もかねて、一緒にアイスクリーム屋へ行きました。

長い時間を共有しているだけに、会話も少ない二人だったが、何種類もあるアイスクリームを眺めながら店員がこちらを向いた瞬間に「バニラ下さい」と、同じタイミングで同じ種類のアイスクリームを頼んだのです。なんだか今まで張りつめていた空気やお互いの音楽に対するズレなども、この時にふっと無くなり、二人で大爆笑。「ここまでデュオしなくてもいいじゃない〜」「こんなに気が合うなら良い演奏できるね」と、二人の気持ちが一緒になった瞬間でした。さあ残り1週間。出来るところまでやるしかない！ただただ一緒にマリimbaを演奏するだけで過ぎて行きました。本番は、どうなることやら？

今回は、コンクール本番をお届けいたします。

Hasta Pronto! アスタ プロント！それでは！またお会いできる日まで～

これからの主な行事・お知らせ

☆お泊まり会	日時： 8月23日（土）24日（日）	場所：東勝寺
☆子ども日本語教室	日時： 8月20日～22日	場所：東勝寺
☆流しそうめん	日時： 9月6日（土）	場所：東勝寺境内
☆忘年会（年末懇親会）	日時： 12月28日（日）	場所：東勝寺

※詳細は別途チラシでお知らせします

◎8月の日本語教室は9日、16日、23日、30日の4日間実施。